

矢毒蛙の飼育（仮題）目次

前書き（Chuck Powell, アメリカ矢毒蛙協会会長）1-2 ページ

I 第1部：矢毒蛙とは...

1) 生物学的に見た矢毒蛙（仮題：特別なカエル）1-2 ページ

- * 派手な色
- * 毒性
- * 行動
- * 高度に進化した特殊な動物である。

2) ペットとしての矢毒蛙（仮題：矢毒蛙；その魅力、その難しさ）2-3 ページ

- * 奇麗、行動が面白い
- * 高度に発達していてデリケート
- * 矢毒が無理な人に勤める蛙（アカメアマガエル、イエアマガエル）

ル)

3) 毒蛙の毒 2-3 ページ

- a 毒の強い種類
 - 1 矢毒用は3種のみ
 - 2 触ただけで致死、一年は効力ある。
 - 3 飼育するべきでない
 - 4 飼育下で低下
- b 毒の研究とその利用
 - 1 どんな毒か
 - 2 鳥と共通
 - 3 痛み止め epibatidine
- c 飼育下での毒の消失
 - 1 飼育下で低下するらしい
 - 2 毒は食物からくる（養殖フグと同じ）
 - 3 でも確認する方法ない
- d 蛙の扱いかた
 - 1 野性個体は毒をだす。
 - 2 容器に誘導する、手を洗う
 - 3 強毒種は手袋

II 第2部：矢毒蛙の飼育

1) 熱帯雨林を作る（飼育装置）2-3 ページ

- a 容器（アメリカ式かヨーロッパ式か）、大きさ、規製品か自作（注文）
- b 保温、湿度、通気、照明、ろ過
- c 床材、流木、植物、産卵場所

2) 餌の餌（餌昆虫の飼育）4-5 ページ

- a ショウジョウバエ
- b コオロギ
- c ハチミツガ
- d トビムシ
- e その他の昆虫

3)(選び方、入手方法、保護法令) 3-4 ページ

- a 健康な個体の見分け方
太り具合、行動、餌喰い。
- b 飼やすい種類
auratus, leucomelas, tinctorius
- c 雌雄の見分け
大きさ、太り方、指先、のど
- d CB vs WC
 - 1 生存率
 - 2 自然保護
- e 入手方法 (ショップ、通販、個人売買)
- f CITES
 - 1 CITES は何か
 - 2 CITES 記載種が輸入されるしくみ
(矢毒蛙が高価になる原因)
- g 異種同居
 - 1 原則的にさける
 - 2 同居を避ける種類
 - 3 平気な種類

4) 病気) 3-4 ページ

- 小さいので進行が早い、治療法未確立
隔離すべき
CB がいい
薬入手、投薬方法
- a scratching disease
 - * 症状
 - * 治療
 - b mouth rot
 - * 同上
 - c red leg
 - * 同上
 - d worms
 - * 同上
 - e SLS
 - * 同上
 - f 発作
 - * 同上
 - g ストレス (矢毒最大の死因)
 - * 同上

5)(繁殖、オタマの飼育、変態) 5-6 ページ

- a コンディショニング
 - * 十分な栄養、十分な広さ
- b 産卵行動
 - * 産卵の前兆
 - * 産卵場所
- c 卵の扱い
 - * 背負い行動が人工ふ化か

- d オタマジャクシの飼育
 - * 隔離 (共食い、成長抑制物質)
 - * 水質
 - * 餌
- e 上陸、子蛙の飼育
 - * 簡単に溺れる
 - * 餌用トビムシ

III 第3部：種別紹介 (各1-2ページ、本書の目玉。繁殖成功例の具体的な条件を紹介する、a-d 各種共通、すべて飼いやすい種類) 各1-2ページ

- 1) auratus (藤谷)
 - a 識別、産地、大きさ、雌雄差
 - b 温度、湿度、容器の大きさ、レイアウト
 - c 性格、飼いやすさ
 - d 繁殖方法
- 2) tinctorius (スイス christian Som or Chuck Powell)
- 3) azureus (アメリカ、frognet 主催者 Anthony Hundt)
- 4) leucomelas (首藤)
- 5) tricolor (首藤)
- 6) vittatus (玉水?)
- 7) ventrimaculatus group (chuck powell)

IV 第4部 上級者のために... (都合によってはこの部分を削除する。)

- 1) egg eaters (人工繁殖が成功していない卵食性矢毒たち) 1-2ページ
 - a 世界の矢毒マニアの目標
 - b pumilio
 - c histrionicus
 - d lehmanii
- 2) 危険種の飼育 1-2ページ
 - P.bicolor
 - P.terribilis
 - P.auteonia
- 3) breeding room の運営 (ドイツ矢毒協会会長 Gerd Voss が玉水) 1-2ページ
- 4) ショップでの矢毒 (首藤1ページ)
 - * 餌の問題
 - * 容器の問題
 - * CBのみ扱うのがこつ
- 5) 動物園での矢毒 (藤谷 1ページ)
 - a 矢毒がみれる動物園、水族館
- 6) 大型 vivarium の設置、管理 (オランダ、Vivaria Projects 社、 Peter Mudde) 1-2ページ
 ヨーロッパでは銀行や喫茶店に熱帯雨林を再現した大型vivariumが設置されているところがあり、その理念やそれを実現するための特殊技術を紹介する。

7) マンテラとアテロプス (2 ページ、首藤、)
(矢毒蛙マニアにも人気のある2つの蛙の飼育法を矢毒との相違点を中心に簡単に紹介。)

- a 矢毒にいた蛙
- b マンテラ
- c アテロプス

8) 矢毒の故郷 (採集 ドイツ矢毒協会会長 Gerd Voss 3-4 ページ)
(マニアの夢は現地採集、ニュータイプ発見の話など依頼する)

- a 海外のマニア
- b 南米に行く

9) 情報 (1 ページ)

- a 書籍、雑誌
- b インターネット (ホームページ、ML)
- c frogday (欧米の矢毒マニアの集会)

10) 矢毒蛙の系統分類 1-2 ページ

* この目次は内容を示すもので実際の構成はもっと検討する。

執筆方針

矢毒蛙の飼育と繁殖は欧米で急速に人気が高まっている趣味であり、日本のどこの両性爬虫類専門店でも矢毒蛙を扱うようになった現在、国内でも普及すると予想される。

現在矢毒蛙の飼育に関する書籍は日本語では皆無であり、英語では4冊(1つ印刷中、Jack Wattley 筆)があるが、3冊(内2冊TFH)は写真中心であり、のこり1冊で矢毒飼育の聖書とまでよばれているドイツのHeselhausの本も出版から9年経過しており、内容が古くなりつつある。従って、本書の出版が実現すれば世界的に最もすぐれた内容の飼育本になり、英語で出版する価値もあると著者らは信じる。

矢毒蛙の写真図鑑を世に出すことが著者らの夢であるが、本書では今後10年間、国内の矢毒蛙愛好家の頼りとなるような詳しく、かつ専門的な文章中心の本の執筆を目指す。本書の需要は十分あり、すべての矢毒蛙愛好家、また矢毒蛙に興味ある両性爬虫類愛好家、熱帯魚愛好家に買ってもらえると予想される。